

プラハ日本人学校の教育

平成 31 年 4 月 発行

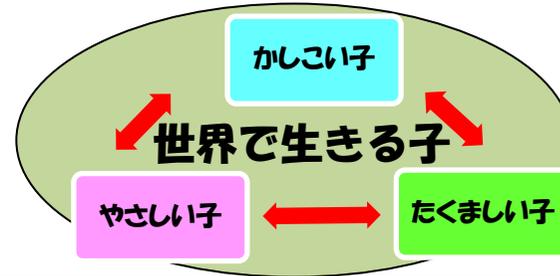


プラハ日本人学校の歴史

1972 年 補習学校として創立
 1980 年 4 月 28 日日本人学校として開校（スフドル校舎）
 児童生徒数 18 名
 学校便り Vltava 発行
 1985 年 クルチ校舎へ移転
 1996 年 スルンナー校へ移転
 2003 年 ペトシンイフ校舎へ移転
 2004 年 ジェピー校舎へ移転
 2008 年 児童生徒数最大の 145 名となる

プラハ日本人学校の概要

現地名：Japonska Škola v Praze
 設置者：チェコ日本人会
 運営主体：プラハ日本人学校運営委員会
 ステータス：在チェコ日本国大使館附属プラハ校
 学校代表者：プラハ日本人学校校長



学校教育目標

自ら学び、共に学ぶ、豊かな心と国際性
 あふれる、たくましい児童生徒の育成

学校経営の柱

- 1 きめ細やかな少人数指導と小中一体の縦割り活動
- 2 わかる授業と学びあい
- 3 チェコの学校・社会との交流・地域貢献
- 4 邦人社会をつなぐ日本文化発信センター
- 5 進路指導の充実（学校選び・進学指導）

チェコについて学びます

チェコ文化理解の授業（チェコ語や文化を学びます）、プラハウォークラリー（子供たちのグループ行動）、遠足、社会科見学、クリスマスマーケット見学、チェコの基礎学校との交流、チェコの先生からチェコの歴史・文化を英語で教わります。

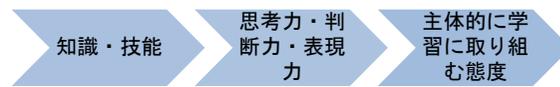
日本文化を発信します

- 【子どもからの発信】
近隣校との交流で、日本文化を伝えます。
地域行事で、日本の踊り、遊びや歌を伝えます。
- 【教師からの発信】
交流をマネジメントします。
現地校で日本語を教えます。
学校行事を日本につながる子供たちに開きます。
- 【保護者・地域邦人からの発信】
近隣校で日本文化を伝えます。
日本古来の文化（お茶・舞踊）を指導します。

英会話でコミュニケーション力を磨きます

言葉が異なっても交流しようとする態度を養います。

「わかる」と「学びあい」のある授業



教育活動の重点

- 1 「生き抜く力」としての学力の向上
基礎基本の定着、思考力判断力の育成
主体的な学習意欲の育成
- 2 人間関係の中での豊かな心の育成
学びあい、高めあふ活動の充実
体験的な活動や縦割り活動の重視
- 3 異なる文化を持つ人たちと交流し協働できる子どもたちの育成
日本文化を発信できる子どもたちの育成
- 4 健康でたくましい体力の育成
★体力づくり(プラハっ子体力向上プラン)
生涯を健康に生きていくための健康教育
- 5 開かれた学校づくり
チェコの学校や社会との交流、地域貢献
学校施設の幅広い活用
日本にルーツをもつ子どもたちのためのセンター
- 6 進路指導の充実（学校選び・進学指導）

安全安心な学校

- 校内（施設点検、事故防止、緊急時の対応）
☆避難訓練、テロ対策、不審者対応、感染症、断水
- 校外（交通安全、大気汚染、）
☆緊急下校訓練、緊急連絡（SMS）、交通安全指導